



平成31年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年11月9日

上場会社名 株式会社 ヒラノテクシード
 コード番号 6245 URL <https://www.hirano-tec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岡田薫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原昌史
 四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日 配当支払開始予定日 平成30年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0745-57-0681

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第2四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第2四半期	13,431	17.8	1,750	16.4	1,788	15.7	1,139	7.7
30年3月期第2四半期	11,404	81.4	1,503	199.6	1,545	205.3	1,057	202.8

(注) 包括利益 31年3月期第2四半期 1,182百万円 (1.9%) 30年3月期第2四半期 1,160百万円 (233.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第2四半期	75.72	—
30年3月期第2四半期	70.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第2四半期	41,038	25,850	63.0
30年3月期	37,445	24,923	66.6

(参考) 自己資本 31年3月期第2四半期 25,850百万円 30年3月期 24,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	13.00	—	17.00	30.00
31年3月期	—	18.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	44.7	3,950	35.1	4,000	34.1	2,800	34.1	186.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期2Q	15,394,379 株	30年3月期	15,394,379 株
② 期末自己株式数	31年3月期2Q	350,783 株	30年3月期	350,783 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期2Q	15,043,596 株	30年3月期2Q	15,043,829 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業業績は堅調であり、雇用情勢の改善が続くなか景気は回復基調で推移いたしました。

海外におきましては、米国や欧州では雇用情勢や所得の改善が進み、設備投資の緩やかな回復などを背景に、景気は堅調に推移いたしました。

また、中国経済は投資の減速感や米中貿易摩擦等を背景とした影響により不透明感もありましたが、消費は堅調に推移しており、大幅な成長の鈍化とはなりませんでしたが、しかし、米国の貿易に関する保護主義的な政策や地政学的リスクなど世界経済への懸念は大きく、先行きの不透明感は払拭できない状況にあります。

このような状況のもと当社グループにおきましては、「時流に乗って躍進」をスローガンに、顧客ニーズの変化や市場動向を的確に把握し、顧客満足度の向上に努めるとともに、価値ある技術を創出し続けるべく、積極的に受注並びに生産活動に取り組んでまいりました。

スマートフォンや電気自動車関連市場の需要拡大に向けた企業の設備投資計画により、電気・電子部材関連及びエネルギー関連分野向けを中心として受注並びに受注残高ともに、高水準で推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,431百万円(前年同期比17.8%増)となり、利益面では営業利益は1,750百万円(前年同期比16.4%増)、経常利益は1,788百万円(前年同期比15.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,139百万円(前年同期比7.7%増)となりました。

受注残高につきましては、エネルギー関連分野及び電気・電子部材関連を中心に推移し、41,449百万円(前期末比7.7%増)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、二次電池向け電極塗工装置及び光学機能性フィルム製造装置が中心に推移いたしました。

その結果、売上高は5,615百万円(前年同期比10.4%増)、セグメント利益は601百万円(前年同期比12.9%減)となりました。

受注残高につきましては、16,641百万円(前期末比8.0%減)となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、真空薄膜装置及び成膜装置が堅調に推移いたしました。

その結果、売上高は7,149百万円(前年同期比34.8%増)、セグメント利益は1,424百万円(前年同期比46.8%増)となりました。

受注残高につきましては、23,836百万円(前期末比21.2%増)となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っております。

売上高は666百万円(前年同期比34.3%減)、セグメント利益は273百万円(前年同期比3.7%増)となりました。

受注残高につきましては、972百万円(前期末比32.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ3,730百万円増加し、32,744百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が910百万円、資金運用のため有価証券が5,007百万円、たな卸資産が1,856百万円それぞれ増加したこと、及び売上債権が3,999百万円減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ136百万円減少し、8,294百万円となりました。その主な要因は、旧三田工場の売却等により有形固定資産が64百万円、退任役員の保険解約により投資その他の資産が66百万円それぞれ減少したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ2,684百万円増加し、13,893百万円となりました。その主な要因は、仕入債務が1,456百万円、前受金が778百万円それぞれ増加したことによります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ17百万円減少し、1,295百万円となりました。その主な要因は、繰延税金負債が76百万円増加したこと、及び長期借入金が55百万円、役員退職慰労引当金が7百万円、退職給付に係る負債が28百万円それぞれ減少したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ926百万円増加し、25,850百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,139百万円計上したこと、前連結会計年度に係る配当金を255百万円支払ったことによります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは6,119百万円(前年同期は547百万円の収入)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益が1,789百万円になったこと、売上債権が4,777百万円減少したこと、受注増加に伴い仕入債務が1,331百万円増加したことによります。また、主な減少要因はたな卸資産が1,874百万円増加したことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって得られたキャッシュ・フローは5百万円(前年同期は214百万円の支出)となりました。

主な増加要因は、旧三田工場の売却等により有形固定資産の売却による収入が45百万円あったこと、退任役員の保険解約により団体生命保険解約による収入が138百万円あったことによります。また、主な減少要因は有形固定資産の取得による支出が125百万円あったこと、無形固定資産の取得による支出が12百万円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは205百万円(前年同期は513百万円の支出)となりました。

主な増加要因は、短期借入金50百万円増加したこと、長期借入れによる収入が320百万円あったことによります。また、主な減少要因は長期借入金の返済による支出が317百万円あったこと、配当金の支払額が255百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,280,211	11,191,099
受取手形及び売掛金	7,461,326	4,062,012
電子記録債権	1,587,838	987,481
有価証券	600,000	5,607,978
仕掛品	8,524,989	10,380,343
原材料及び貯蔵品	99,808	101,199
その他	465,816	417,921
貸倒引当金	△6,165	△3,942
流動資産合計	29,013,826	32,744,094
固定資産		
有形固定資産	3,959,908	3,895,207
無形固定資産	90,283	85,030
投資その他の資産		
投資有価証券	3,888,774	3,923,191
その他	492,356	391,325
投資その他の資産合計	4,381,130	4,314,517
固定資産合計	8,431,323	8,294,754
資産合計	37,445,150	41,038,849

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,564,132	4,294,820
電子記録債務	2,652,175	3,377,684
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	584,932	642,012
未払法人税等	509,539	570,043
前受金	3,063,444	3,841,768
賞与引当金	198,050	204,384
製品保証引当金	67,389	76,906
その他	569,118	835,506
流動負債合計	11,208,782	13,893,125
固定負債		
長期借入金	649,824	594,778
役員退職慰労引当金	79,470	71,477
退職給付に係る負債	533,266	504,441
資産除去債務	14,888	15,038
その他	35,437	109,924
固定負債合計	1,312,886	1,295,660
負債合計	12,521,669	15,188,785
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,339,722
利益剰余金	21,719,994	22,603,369
自己株式	△408,218	△408,218
株主資本合計	24,499,320	25,382,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	621,205	644,568
退職給付に係る調整累計額	△197,044	△177,200
その他の包括利益累計額合計	424,160	467,367
純資産合計	24,923,481	25,850,063
負債純資産合計	37,445,150	41,038,849

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
売上高	11,404,860	13,431,188
売上原価	8,986,049	10,658,102
売上総利益	2,418,810	2,773,085
販売費及び一般管理費	915,473	1,022,834
営業利益	1,503,336	1,750,251
営業外収益		
受取利息	3,479	1,838
受取配当金	25,292	27,452
その他	29,372	22,631
営業外収益合計	58,144	51,922
営業外費用		
支払利息	4,279	4,850
売上割引	1,174	6,975
その他	10,293	1,922
営業外費用合計	15,747	13,748
経常利益	1,545,734	1,788,425
特別利益		
固定資産売却益	—	1,025
特別利益合計	—	1,025
税金等調整前四半期純利益	1,545,734	1,789,451
法人税、住民税及び事業税	477,222	589,075
法人税等調整額	10,797	61,259
法人税等合計	488,020	650,334
四半期純利益	1,057,714	1,139,116
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,057,714	1,139,116

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益	1,057,714	1,139,116
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90,815	23,363
退職給付に係る調整額	12,153	19,843
その他の包括利益合計	102,969	43,207
四半期包括利益	1,160,683	1,182,323
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,160,683	1,182,323
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,545,734	1,789,451
減価償却費	152,837	154,945
長期前払費用償却額	6,264	10,495
賞与引当金の増減額(△は減少)	3,854	6,334
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△192	△2,223
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△21,380	△7,993
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△12,385	9,517
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	5,352	△3,735
受取利息及び受取配当金	△28,772	△29,291
支払利息	4,279	4,850
固定資産売却損益(△は益)	—	△637
固定資産除却損	2,163	35
売上債権の増減額(△は増加)	△380,448	4,777,995
たな卸資産の増減額(△は増加)	△301,548	△1,874,429
仕入債務の増減額(△は減少)	△165,233	1,331,309
未払金の増減額(△は減少)	16,291	278,749
未払費用の増減額(△は減少)	△9,994	△14,600
未収消費税等の増減額(△は増加)	245,852	297,694
未払消費税等の増減額(△は減少)	3,299	52,430
その他	△26,383	△189,551
小計	1,039,590	6,591,346
利息及び配当金の受取額	28,772	29,291
利息の支払額	△4,279	△4,850
法人税等の支払額	△517,919	△498,548
法人税等の還付額	1,214	2,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	547,378	6,119,715
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△401,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	401,000	1,000
有形固定資産の取得による支出	△128,365	△125,372
有形固定資産の売却による収入	715	45,261
無形固定資産の取得による支出	△1,899	△12,975
投資有価証券の取得による支出	△251,897	△2,269
投資有価証券の売却による収入	122,337	893
その他	44,824	99,474
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214,286	5,011

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入れによる収入	—	320,000
長期借入金の返済による支出	△320,832	△317,966
自己株式の取得による支出	△485	—
配当金の支払額	△240,356	△255,875
その他	△1,547	△1,530
財務活動によるキャッシュ・フロー	△513,221	△205,372
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,729	△487
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△178,400	5,918,866
現金及び現金同等物の期首残高	11,147,110	8,841,211
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,968,710	14,760,078

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	4,782,936	+14.5
化工機関連機器	5,522,486	+34.5
その他	352,679	△49.7
合計	10,658,102	+18.6

(注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	4,176,032	△30.5	16,641,370	△8.0
化工機関連機器	11,317,611	+26.6	23,836,439	+21.2
その他	906,837	△34.2	972,189	+32.9
合計	16,400,482	+0.5	41,449,999	+7.7

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	5,615,343	+10.4
化工機関連機器	7,149,505	+34.8
その他	666,338	△34.3
合計	13,431,188	+17.8

(注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。